

亜炭香古学2014
足元スイッチ
小説でも
ピリリとすてきな
「ひろいもの」

仙台には今と昔をつなぐカケラが足元にたくさん落ちています。たとえ小さくてもそこにはさまざまな由来と時間の重なりがあり、じっくり読み解いていくとその向こうにいつもとは違う風景が広がります。それが足元スイッチです。
<http://sendaicf.jp/ashimoto>

第一回 青葉山のスイッチ【終了】

美術家伊達伸明さんと東北大学植物園内の足元スイッチ(穴ぼこ・キノコなど)を観察

◆日時 平成26年8月10日(日) ◆会場 東北大学植物園

埋もれ木のスイッチ 埋もれ木をみかく簡単工芸ワークショップ

約400万年前の木の化石、埋もれ木。宮城県名産工芸品「埋もれ木細工」の原木です。かつて青葉山は埋もれ木の産地であり、亜炭鉱山でもありました。鉱山の閉山により採掘が終了し、現在は入手できない稀少工芸材です。今では「埋もれ木細工」職人も、全国で最後の一人となりました。かつて、一家に一つはあったといわれる「埋もれ木細工」ですが、未だ多くの家庭にありながら、その存在と価値を知られず、捨てられてしまうことも多いようです。入手困難なこの稀少工芸材に触れ、埋もれ木の特性を体験する「埋もれ木みがきワークショップ」を開催します(埋もれ木のお土産あり)。

- ◆日時 平成26年11月3日(月・祝) 10:00-15:30 (材料がなくなり次第終了)
- ◆会場 仙台市役所と市民広場の間の道路上(青葉区民祭の1デト)
- ◆内容 埋もれ木のかけらを磨いてつるつるにします
- ◆参加 無料。申込不要、直接会場へ。出入り自由。お子さんも参加できます。磨いた埋もれ木はお土産として持ち帰ることができます。

新聞「亜炭情報」

市民の情報提供をもとにした亜炭・埋木に関する取材記事など。
新聞はインターネットでも閲覧できます。

「亜炭香古学～足元の仙台を掘りおこす」とは

かつて仙台で広く生活燃料として使われた「亜炭」、同じ層から採掘された特産工芸素材「埋木」を通して往時の仙台の生活風景を証言や資料をもとに再検証する「亜炭香古学～足元の仙台を掘りおこす」の継続活動です。詳しくはお問い合わせください。

ホテルに関するアンケート ご協力をお願い

企画制作：伊達 伸明(美術家) 主催：(公財)仙台市市民文化事業団 協力：地域探検隊-T T T



キ
リ
ト
リ

市街地でホテルが姿を見えなくなってからずいぶん経ちます。ホテルのいた風景をもう一度取り戻そうと、各地で環境保全活動に取り組んでいる人々がいます。そこで、(公財)仙台市市民文化事業団では、かつてホテルが飛んでいた頃の地域の様子についてアンケートを実施し「ホテルと人々の暮らし」の風情を再考します。かつての周囲の様子、個人的な思い出も含めたホテルの記憶など、「夕景文化財」としてのホテルの魅力をお聞かせください。

この結果は、(公財)仙台市市民文化事業団が来年度に予定する地域資源再発見を目的として行われる展示会の参考資料として活用していく予定です。ご協力をお願いします。

.....
(公財)仙台市市民文化事業団 事業課
〒981-0904
仙台市青葉区旭ヶ丘3丁目27の5
電話 022-301-7405 (平日9～17時)
FAX 022-727-1874 info@sendaicf.jp
www.sendaicf.jp/ashimoto

この企画は、「亜炭」と「埋木」を通じて往時の仙台の生活風景を証言や資料をもとに再検証する「亜炭香古学～足元の仙台を掘りおこす」の継続活動です。

◎ 「ホテルの記憶」について広くお聞きします

あなたにとっての「ホテルの風景」をお寄せください。

- ・ホテルを見た思い出の場所（仙台でなくても可。他県も可。）
- ・そのときの様子や気分をおしえてください
- ・後世に伝えたいホテルの風景とは？
- ・夏の夕暮れのホテルのいた〇〇の記憶
- ・暗闇の中で見た光についておもうこと など

◎ アンケートのご回答は、このように活用させていただきます

- (1) 来年開催予定の展覧会「(仮称)またたく記憶の紡ぎ方」(監修:伊達伸明)では、仙台の今と昔をつなぐ様々な「風景の痕跡」と、その楽しみ方を特集展示します。今回のアンケートは、かつての仙台の風景を伝える資料として、展覧会でご紹介させていただく予定です。
なお、ご回答の一部分を抽出する形で発表させていただく可能性があります。この点について、あらかじめご了承ください。
【展覧会】平成27年8月8～18日(予定) せんだいメディアテーク6階ギャラリー
- (2) 回答文を印刷物にまとめ、市民に無料配布する場合があります。
また、この印刷物をインターネットから閲覧できるようにすることがあります。

◎ ご回答や個人情報の取り扱いについて

- (1) 展覧会では、回収したアンケート用紙をそのまま壁に掲示することはありません。美術家・伊達伸明さんのつくる特殊な空間の中に回答が展示されます。
- (2) 展覧会やウェブサイトを含め、ご記入いただいた個人情報は公開いたしません。事業のお知らせのみに使用させていただきます。

◎ 募集期間・募集方法

右ページのアンケート欄にご記入の上、FAX・郵便・電子メールなどで右応募宛先まで、ご返信下さい。
募集期間：平成26年8月～27年3月
(インターネットからアンケートをダウンロードして使用することができます)

ご回答宛先・お問い合わせ先
.....
(公財)仙台市市民文化事業団 事業課
〒981-0904
仙台市青葉区旭ヶ丘3丁目27の5
電話 022-301-7405 (平日9～17時)
FAX 022-727-1874
info@sendaic.jp

ご返信方法：FAXやメールでの返信、郵便等でお願ひします。

FAX送信表

宛先：FAX 022-727-1874
(公財)仙台市市民文化事業団 事業課 行

氏名

電話・FAX番号・電子メールなどご連絡先

住 所 (アンケートの回答をご紹介する確しのご案内や、回答をまとめた印刷物を郵送させていただきます)

年 齢 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代・それ以上

ホテルに関するアンケート

ホテルがいた頃の思い出を教えてください。ご自身の記憶や伝聞など何でもかまいません。そのころの街の様子などと合わせてお書き下さい。

ここに記述する思い出話は、仙台のこと ・ 仙台以外の場所のこと です。
丸で囲む

ご協力ありがとうございました。